



DISTRICT 26 AREA4
Zonta Club of Kitakyushu
北九州ゾントクラブ

北九州ゾントクラブ

美苑書

Newsletter of Zonta Club of Kitakyushu

Vol.31
2025.05.31



会長挨拶



会長 福島 大亮

この一年間を振り返り、4エリア合同エリアミーティングや第3回アジア地区間会議の開催に微力ながら貢献できたことを、大変うれしく感じております。

これらの貴重な機会を通じて、ゾンタのネットワークの広がりや、活動の意義を改めて実感することができました。

また、クラブ内でも様々な変化があり、組織運営の難しさや大切さについて、学びを深める一年となりました。

今秋には徳島で地区大会が、そして来年にはバンクーバーで国際大会が開催されます。

こうした場に参加し、さらに視野を広げ、ゾンタ活動への理解と情熱を新たにしたいと考えております。

引き続き、皆様と力を合わせ、クラブの発展に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事として



北九州ゾンタクラブ理事 木下 彰子

北九州ゾンタクラブ設立33～34年間に「理事」という役職に就かせて頂きました。「理事」とは、クラブ全体の活動に注視し、見守り、成長させる役であると考えています。

国際ゾンタ26地区エリア4エリアディレクターを輩出させて頂いているクラブとして、第3回アジア地区間会議・同時開催エリアミーティングに会員全員登録させて頂き、共に活動し、会員のチームワークがより強固なものになったのは、嬉しい限りです。

現在の会員数23名。30名に達する努力を何年も続けていますが、なかなかうまくいきません。会員増強は国際ゾンタ全体の課題です。「数は力」と言いますが、どうすれば会員数は増えるのでしょうか？

*まずはゾンタの活動の意義を理解すること — 今世界はゾンタの活動を必要としています！

*そして会員間の親睦を大切にすること — 志を同じくする仲間が沢山いるという事を理解しましょう！

北九州ゾンタクラブのチャーターメンバーの一人として、クラブの更なる発展に貢献出来るよう頑張ります！

エリア4 エリア・ディレクターを拝命して

国際ゾンタ26地区エリア4のエリア・ディレクター(AD)として、令和6年7月から活動を始めて10カ月が過ぎました。最初の頃は何から始めたらいいいのか、不安で一杯でしたが、和田津ガバナーの温かいお導きをいただきながら務めてまいりました。

令和7年4月4日は4エリアが同じ場所で同時開催する初めてのエリア・ミーティングを開催。3時間という非常に限られた時間の配分を4名のADで協議を重ねながら協調性をもって開催できたことは非常に良い経験となりました。素晴らしい地区理事の方々とともに活動を行えることは、私にとって大きな喜びであり充実感を感じています。

私はADとは、エリア内のクラブのみなさまにとって、御用聞きのような存在だと考えています。お困り事や悩みがあれば、一緒に考えサポートをしながら解決策を考えていくことが私の任務だと心得ています。

そのためにコミュニケーションを大切にしています。

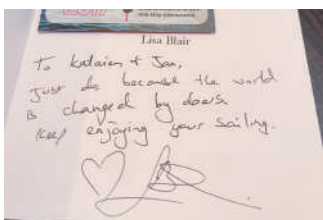
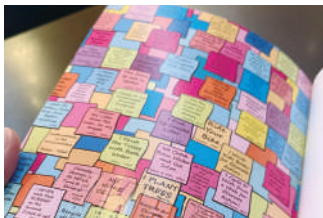
戦後80年を迎え、国際ゾンタのみならず、あらゆる団体は世代交代の時期を迎えています。和田津ガバナーは「手を取り、心を繋ぎ、ゾンタのバトンを次世代へ」というスローガンを掲げられました。その言葉の持つ重みを感じます。ゾンタの活動を継続発展させながら若い世代へどのように繋げていけばよいか。実現するために私たちはどのように行動していけばよいか。世代が変われば考え方も変わります。その問題意識を持ちながら、残り1年の任期を活動してまいりたいと存じます。

私が社会人になった約40年前に比べて、企業や社会における女性の立場はずいぶん改善されてきました。しかしまだジェンダーギャップの問題は根深いものがあります。ジェンダー問題の一番の解決策は男性のみなさまと一緒に意識を持っていただくこと。共に手を携えてまいりましょう。



国際ゾンタ26地区エリア4 ディレクター 河邊 政恵

ブリスベン国際大会にて



2024年6月末、オーストラリア・ブリスベンで開催された第34回国際ゾンタ世界大会に参加し、女性が社会変革に主体的に関わる重要性を実感しました。

基調講演では、南極を単独航海したリサ・ブレアが過酷な体験を交え『Facing Fear』を語り、以下の四つを教えてくださいました——恐怖は進むべき道を示すコンパス、限界に挑む勇氣、一步の行動が連鎖を生む力、そして南極氷海が伝える気候変動の声。これらを胸に、意思決定や災害準備に女性視点を取り入れ、小さな行動を積み重ね、次世代へ想いをつなぎ、未来を切り開く女性の輪を広げていきます。得た学びを具体的な活動に落とし込み、地域や職場で実践し続けたいと思います。

国連・広報委員 籠田 淳子

外部講師卓話 馬原孝治氏を迎えて

元ソフトバンクホークス投手。現在は「縁鍼灸整骨院」3店舗経営。現役引退後、5年10年後を見据えて身体の事を一から学ぶため、我がクラブ会員水嶋氏経営の医療スポーツ専門学校開校と同時に入学というご縁。3年間で3つの国家資格取得。一学生となる事、周囲の反対もあり、奥様が背中を押してくれたから今があると。投手時代は家事育児は任せきりで感謝しかない。馬原氏は女性をリスペクトしていて、女性を医院長にも起用。家事もお手伝いではなく普通にこなしていると…現役時代に「光」をくれた人達への感謝と恩返しもあり、今度は自分が「光」を当てる…とても感動のお話でした。素晴らしいエースだった人は今も素晴らしいエースの生き方をされていました。

会計 日野 久美子



北九州ゾンタクラブ 新年会

新年会では、和やかな雰囲気の中で、普段なかなかお話しできない方々ともゆっくり交流でき、充実したひとときを過ごせました。料理もとても美味しく、金色の獅子舞に顔を噛んでもらい、縁起の良い一年の始まりとなりました。皆さんがメンバーでもある真鍋孝輔さんの操る獅子舞にとっても嬉しそうにされている様子が印象的でした。ゾンタクラブという素敵な組織の一員でいられることに、心から感謝していますし、クラブの一層の発展を願いつつ、皆様と歩んでいけることを楽しみにしております。

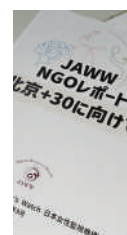
国連・広報委員 落水 洋介



楽しい三隅塾での学び

毎月1回、ジェンダーをテーマとした勉強会を行っています。偉大なゾンシャン、亡き三隅佳子様にお願いをして勉強会を始めたのがそもそもの始まりでした。現在は、織田由紀子先生が、私たちの思いを汲み取ってくださり、ボランティアで毎月講師をしてくださっています。本当に有難く心より感謝を申し上げます。勉強会は私たちで選んだ著書を輪読し、織田先生に解説や教をいただきながら参加者同士でディスカッションを行うという、とても楽しい時間となっています。現在は上野千鶴子著「こんな世の中に誰がした？」を、その前は治部れんげ著「男女格差後進国の衝撃 無意識のジェンダー・バイアスを克服する」でした。織田先生の解説が本当にわかりやすく、途中から参加しても全く抵抗感なく加われます。ゾンタ会員以外の方のご参加も大歓迎です。私たちと一緒に学びませんか？お問い合わせをお待ちしております。

財務・プログラム委員長 河邊 政恵



北九州ゾンタクラブ・ チャリティハートフルパーティ 2024



2024年11月15日に開催された国際ゾンタ26地区エリア4「北九州ゾンタクラブ チャリティハートフルパーティ2024」は、スペシャルゲストとしてスパニッシュギターデュオDON ALMAS(ドン アルマス)をお招きしました。デュオのお二人が奏でるパフォーマンスは情熱的でありながらも繊細な旋律で、ギターをかき鳴らす指さばきや様々な音楽要素を融合させ「物語をよんでいるような音楽」と称される表現力豊かな演奏はドラマティックでドン アルマスの世界観に会場内は包まれました。情熱と優美さが交差した素晴らしいパフォーマンスは皆様の琴線が震えた事だと思います。その余韻に浸りながら「ハートフルくじ・抽選会」へとすすみました。

多くの企業様・団体様からの素敵なお協賛品で、さらに会場は盛り上がりました。美味しいディナーと素晴らしい演奏を多くのお客様と共に過ごせた事を心より感謝申し上げます。

副会長 芳賀 眞理子

「ZONTA Says NO 月間」募金 市長表敬訪問



11月25日から12月10日までの16日間の「アクティビズム」期間中、すべてのゾントのクラブと地区は、「女性に対する暴力にノーと言う」キャンペーンに参加し、法律の制定と実施に影響を与えるための地域、国内、国際的な行動をとるとともに、女性に対する暴力を終わらせるためのジェンダーに基づく態度と行動を変えることが奨励されています。北九州ゾントクラブでは、今年度は12月4日に、北九州市長に表敬訪問をさせていただきました。武内和久北九州市長は、私達の活動内容を聞いていただき、何か出来る事はと、今後の取組みに非常に興味を持っていただきました。北九州が住みやすい街になるようにゾントクラブの活動を通して、北九州市を良くしていきたいと思った一日でした。

また、12月7日には、小倉駅前にて、募金活動をさせていただきました。

とても風が強く、寒い一日でしたが、熱い思いで、会員一同、一生懸命頑張りました。

本来ならば、この活動が必要のない世の中になる事を切に願うばかりです。

ご協力いただいた、会員の皆さん、GZの皆さん、本当にありがとうございました。

国連・広報委員長 眞鍋 孝輔

ローズデイ記念 国際女性デー

3月23日(日)にローズデイ記念事業として、認定NPO法人日本BPW連合会副理事長及び福岡県筑前町男女共同参画推進審議会会長でいらっしゃいます神崎智子先生を講師としてお迎えし「ジェンダー平等へのバトンを未来につなぐ」というテーマのもと講演会を実施しました。

北九州のジェンダー平等の歴史を日本、世界の動きと共に振り返りながら、これまで先輩方から引き継がれてきた「ジェンダー平等へのバトン」を次の世代に渡していくためにはどうすべきかという視点からご講演いただきました。その後、北九州女性団体連絡会議会長、北九州ゾントクラブ会長、西南女学院大学ゴールデンZクラブ会員が参加し、パネルディスカッションを行いました。それぞれのお立場でこれまで行ってきた取り組みや、それらを行う中での課題、未来に向けての抱負などについてお話しいただきました。オンラインも含めて多くの方々にご参加いただき、活発な議論も行われ、大変貴重な学びの場となりました。

アドボカシー・奉仕委員長 塚本 美紀



国産ゾンタ26地区エリア4 北九州ゾントクラブローズデイ記念事業委員会

ローズデイ2025
北九州ゾントクラブ
ジェンダー平等へのバトンを
未来につなぐ
神崎智子氏講演会

2025
3/23日 参加料
無料

開演14時~終了16時
オンラインでの参加も
可能です。

講師
神崎智子氏プロフィール
認定NPO法人日本BPW連合会副理事長
福岡県筑前町男女共同参画推進審議会会長

パネリスト
14:00~14:10 開演の礼
14:10~15:10 神崎氏講演
15:10~15:20 ディスカッション
15:20~16:00 閉会の挨拶

申込方法
お申し込みは、お申し込みフォームから
お申し込みください。お申し込みは、お申し込み
フォームからお申し込みください。お申し込み
フォームからお申し込みください。

【主催】国産ゾンタ26地区エリア4 北九州ゾントクラブ
E-mail: zonta26@zonta.jp

第3回ゾンタアジア地区間会議

第3回アジア地区間会議は2025年4月5～6日、ニューオータニ博多で開催されました。和田津ガバナーを実行委員長とし、実行委員会、そしてコアメンバーで1年以上の時間をかけて準備し、26地区会員全員の絶大なる協力を得て、600人を超えるゾンシャン達が集う素晴らしいイベントが開催できました。

真剣にお勉強する基調講演やセッション、リラックスするアトラクションやエンターテインメント、ショッピングが大好きなゾンシャン達が大喜びするゾンタストア等、緩急が見事に混在したイベントであったと思います。

祝舞、獅子舞、着物ショー、VIP達のお振袖でのお目見え等日本色豊かだったのも印象に残ったのではないのでしょうか。26地区のゾンシャン達にとっては、4日の同日同会場開催のエリアミーティング、そしてAIDM参加と今までにない経験が出来、国際大会の雰囲気味わい、海外の友人を増やし、ゾンタ精神を満喫して頂けたのであれば嬉しい限りです。

第3回AIDM副実行委員長 木下 彰子





新入会員紹介



新入会員 元嶋 加奈

このたび、入会させていただきました元嶋加奈と申します。私は長年にわたり美容業に携わり、多くの方々と接する中で、外見だけでなく心の健康や自己肯定感の大切さを実感してまいりました。美容を通じて「自分らしく輝くこと」の素晴らしさを伝えることを大切にしてきた経験を、ゾンタクラブの活動にも活かせたらと考えております。女性の地位向上や社会貢献を目指すゾンタクラブの理念に深く共感し、このご縁をいただけたことを心より嬉しく思います。これからは、皆様とともに学びながら、地域社会のために少しでも力になれるよう努めてまいります。まだまだ未熟ではございますが、ご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新入会員 本間 裕子

この度、ご縁があって北九州ゾンタクラブに入会させていただきました本間裕子と申します。これまで北九州にてずっとアパレルに携わる仕事を行ってきました。初めて、ゾンタクラブの活動を知った時に、これからの社会にとってなくてはならない活動だと確信して、この会に入会する事を決めました。ゾンタクラブを通していろんな学びと出会いに感謝を込めて活動して行きたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



新入会員 小田 広子

ご縁を頂きこの度入会しました小田広子と申します。鍼灸師の仕事をしており小倉でお店を開業し7年目になります。予防医学を学ぶ中で心と体は表裏一体だと感じており自身が求めている生き方ができる世の中になりたいという想いがあります。そんな中ゾンタとの出会いにより微力な私1人の考えでは叶わないこともここでの活動を生かし沢山の方を導くことができると確信し、入会させて頂きました。楽しく活動していきたいと思います。宜しく願いいたします!!

西南女学院大学ゴールデンZクラブ



2024年度は、ゴールデンZクラブのメンバー全員が幅広く活動しました。例年行っているカンボジア学生の受け入れや、ゴールデンZメンバーのカンボジア訪問に加え、未来創造委員会の活動にも力を入れました。北九州市で行われたエコライフステージや、小倉子供祭りはじめ、地域の子供たちとアクティビティに取り組みながらSDGsについて学ぶイベントに参加しました。アクティビティとして行うゲームを未来創造委員会のメンバーと共に考案し、子供たちだけでなく、保護者の方にも一緒に興味を持ってもらうにはどのようにしたら良いのか試行錯誤しながら形にしていきました。また、新しい活動として、他大学の学生が運営するSDGsイベントにも参加しました。未来創造委員会の活動の中で他大学の学生との繋がりが増え、お互いの活動について共有することで自分たちの活動に取り入れたい新しい発見があり、学びを深めることができました。これらの経験を活かし、今後の活動をより有意義なものにしていきたいと思ひます。

北九州ゾントクラブ2024年度事業報告 2024年(令和6年)6月1日～2025年(令和7年)5月31日

2024年

月	日	事業内容
6月	1日	第12回 役員会
	14日	三隅塾
	17日	年次総会・第1回定例会
	27日	国際大会2024
	30日	
		2023年度会報発行
月	日	事業内容
7月	6日	第1回 役員会
	16日	第2回 定例会 三隅塾
月	日	事業内容
8月	6日	第2回 役員会
	19日	第3回 定例会 三隅塾
月	日	事業内容
9月	7日	第3回 役員会
	17日	第4回 定例会(会員卓話) 三隅塾
月	日	事業内容
10月	5日	第4回 役員会
	21日	第5回 定例会 三隅塾
月	日	事業内容
11月	2日	第5回 役員会
	8日	国際ZONTA生誕105年
	15日	ハートフルパーティー
	18日	第6回 定例会 三隅塾
		ZONTA Says NO月間
月	日	事業内容
12月	7日	第6回 役員会
	16日	第7回 定例会 三隅塾

2025年

月	日	事業内容
1月	4日	アメリカ・イアハート月間
	20日	第7回 役員会 第8回 定例会 三隅塾
月	日	事業内容
2月	1日	第8回 役員会
	17日	第9回 定例会
月	日	事業内容
3月	1日	国際女性デー(ローズデー)月間
	17日	第9回 役員会 第10回 定例会 三隅塾
月	日	事業内容
4月	4日	エリアミーティング
	5日	第3回アジア地区間会議
	6日	
	12日	
	21日	第10回 役員会 第11回 定例会(外部卓話) 三隅塾
月	日	事業内容
5月	10日	第11回 役員会
	19日	第12回 定例会 三隅塾
		会報発行

令和7年度会員一覧 2025年(令和7年)6月～2026年(令和8年)5月

◎=委員長

役職	氏名	役職	氏名
会長	福島 大亮	監査	千代丸 孝子
副会長	芳賀 真理子	財務・プログラム委員会	◎河邊 政恵、金子 美奈子、日野 久美子、神谷 麻里(休) 福原 公子(休)、
書記	中山 聡子	アドボカシー・奉仕委員会	◎塚本 美紀、木下 彰子、末吉 房代、芳賀 真理子、水嶋 章陽、渡部 英子、
会計	日野 久美子	国連・広報委員会	◎眞鍋 孝輔、落水 洋介、籠田 淳子、千代丸 孝子、三宅 まゆみ、坂本 直美(休)
特別会計	金子 美奈子	会員委員会	◎田淵 祐子、天川 悦子、小田 広子、中山 聡子、福島 大亮、本間 裕子、眞鍋 孝輔、元嶋 加奈
理事	河邊 政恵、木下 彰子、末吉 房代	名簿担当	福島 大亮

毎月/役員会(第1日曜日)男女共同参画センタームーブ・定例会(第3日曜日)リーガロイヤルホテル小倉

寄付活動	女性活躍団体への寄付金	特定非営利活動法人 ロシナンテス	ゾント女性財団
------	-------------	------------------	---------